



Washington Japanese Language School
ワシントン日本語学校

2023年9月2日発行 第15号

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411

生成 AI の利用について

校長 三原 洋一

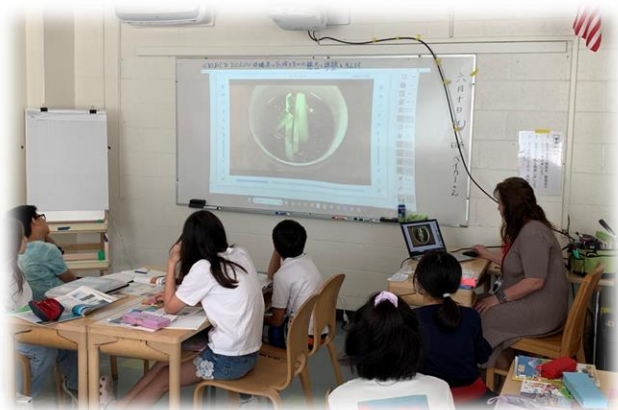
令和5年7月4日に文部科学省から、主として対話型の文章生成AIについて、学校関係者が現時点での活用の適否を判断する際の参考資料としてのガイドラインが、以下のとおり示されました。

「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」の作成について（通知）

https://www.mext.go.jp/content/20230704-mxt_shuukyo02-000003278_003.pdf

このガイドラインには、生成AIの活用の適否に関する暫定的な考え方として、「活用が適切でないと考えられる例」や「活用が考えられる例」の他、長期休業中の課題等について留意事項が示されています。

現在、スマートフォンやタブレット等が広く普



及する中、子どもたちにとってもそれらは身近で、なくてはならないものとなってきていますし、現在すでに生成AIを使っている子どもたちが多くいることも事実でしょう。「情報活用能力」の育成の観点からも、これらの使用は避けて通れないものとなっています。

学校としましては、学習指導要領の内容を踏まえて、「情報活用能力」の育成を図る指導を、授業の中で行ってまいります。

永岡桂子 文部科学大臣談話

「子どもたちの批判的思考力や創造性への影響などについてはリスクの整理が必要である一方で、学習指導要領では学習の基盤として情報活用能力を位置づけている。生成AIをどのように使いこなすかという視点や、自分の考えを形成するために生かすといった視点も重要だ。」
(令和5年5月30日記者会見より)

各ご家庭におかれましても、この文部科学省の通知を参考にされて、親子で使ったり、子ども自

米国日本通運株式会社は2022年1月より、
社名を**NXアメリカ株式会社**へ変更致しました。



帰国の際の引越はNXアメリカにお任せください

お問い合わせ、お申込みはNXアメリカ ワシントン営業所まで

TEL: (703)-661-8326 (日本語ダイヤル)

URL: <http://www.nittsu.com/hikkoshi>



身に考えさせることを大切にしたりするなど、生成AIのメリットやデメリットを踏まえながら、適切な使用に努めていただきますようお願いいたします。

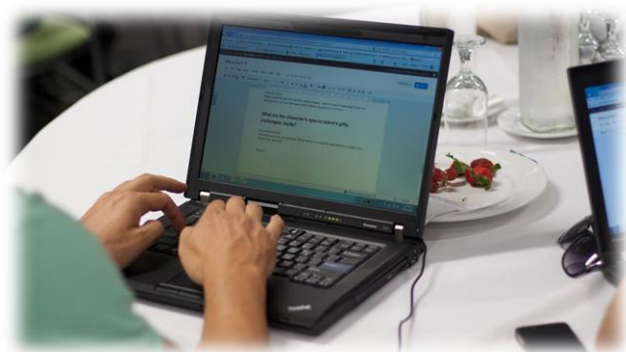
また、生成AIの利用を想定していないコンクールの作品や日記、レポートなどについて、AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出することは、評価基準や応募規約によっては不適切又は不正な行為に当たること、活動を通じた学びが得られず、自分のためにならないことを、学年の発達段階に応じて指導してまいります。

なお、ガイドラインに例示された対話型の文章生成AIの利用規約には、それぞれ年齢制限が定められており、下記の例のように、児童生徒による利用を想定していないものや、保護者の同意が必要となるものがあることもご承知ください。

(例)

- ・ ChatGPT (OpenAI 社) は 13 歳以上、18 歳未満の場合は保護者同意が必要

- ・ Bing Chat (Microsoft 社) は成年であること、未成年の場合は保護者同意が必要
- ・ Bard (Google 社) は 18 歳以上であることが必要



研究授業公開 ～校内研修の取組～

よりよい授業づくりを目指して、本校では、全教員が各教科ごとの部会に分かれて授業研究を中心とした研修を計画的に進めています。今回は幼小算数部会で、2年D組のペイン先生の算数「足し算のひっ算」の研究授業を実施しました。このクラスでは、学習規律が徹底しており、どの子も学習課題に向けて熱心な学びの姿勢を見せてくれました。教師が、一人一人に寄り添った指導を行うことの大切さを再認識できました。



2023年度の「日本漢字能力検定」を10月28日(土)放課後(16:00～予定)に実施します。

日頃の生活の中で漢字に触れることがほとんどない本校の子どもたちにとって、漢字の習得は大きな課題となっています。

先週で申込を締め切りましたが、今年は88名の児童・生徒・保護者が挑戦します。

漢字に対して苦手意識をもっている人も、目標の級を見定めて、一人一人の力にあった挑戦をしてほしいと思います。合格することで、身についた漢字を活かして「読み取りを頑張ろう」、「作文を頑張ろう」とその他の学習への意欲にもつながることを期待しています。

